

令和8年1月28日

報道機関各位

公立大学法人神奈川県立保健福祉大学

ヘルスイノベーション・カンファレンス殿町2026の開催について
～ 健康な高齢化の実現によるウェルビーイング社会に向けたデータとデザインの力～

本学川崎キャンパスでは、未病コンセプトに基づく社会システムや技術の革新を起こすことができる人材の育成とともに、健康長寿社会を実現する研究活動を実践しており、2025年には世界保健機関（WHO）より「健康な高齢化のイノベーションに関する協力センター」に指定されています。

このたび、その活動の一環として「健康な高齢化の実現によるウェルビーイング社会の実現に向けたデータとデザインの力」をテーマに、国内外の最新の知見と実践事例を共有・議論する場として「ヘルスイノベーション・カンファレンス殿町2026」を開催することといたしましたので、お知らせします。

1 開催日程・会場

令和8年2月27日（金）、28日（土） 本学川崎キャンパスほか

2 開催方式

現地参加のみ

3 概要

2月27日

会場 ライフイノベーションセンター4階
(川崎市川崎区殿町3-25-22 4階会議室)

時間	内容・テーマ
17:30～17:45	主催者あいさつ
17:45～18:45	シンポジウム1 「アントレプレナーシップが拓く“健康×データ×地域”的共創」
18:50～19:50	シンポジウム2 「健康と繋がりを生み出す社会のデザイン」

20:00～ 情報交換会を別途開催します。

2月28日

会場 本学川崎キャンパス

(川崎市川崎区殿町 3-25-10 RGBT II-A 2階)

時間	内容・テーマ
9:00~10:00	シンポジウム3 「オーラルフレイルを身近に」
	シンポジウム4 「住環境と健康」
10:00~10:30	コーヒーブレイク & Q/Aセッション
10:30~11:30	シンポジウム5 「地域の健康づくりにおける大学の役割」
11:30~11:40	閉会あいさつ

9:00~ 殿町地区で活動される企業・団体等の活動報告や研究成果に関する

ポスター展示を行います。(発表申込締切: 2月6日(金)まで)

4 参加料・申込方法

参加料: 無料

申込方法: Webにてお申込みください。

参加申込締切: 2月20日(金)まで



(特設サイト URL) <https://hict2026.cip-kuhs.jp/>

5 主催: 公立大学法人神奈川県立保健福祉大学

イノベーション政策研究センター・大学院ヘルスイノベーション研究科

後援: 神奈川県、川崎市

問合せ先

公立大学法人神奈川県立保健福祉大学

教授、イノベーション政策研究センター副センター長 渡邊亮

ヘルスイノベーションスクール担当部長 和田

電話 044-589-3312 shi-press@kuhs.ac.jp

ヘルスイノベーション・カンファレンス殿町 2026

シンポジウム・企画要旨

1. アントレプレナーシップが拓く“健康×データ×地域”的共創

- 本シンポジウムでは、「健康な高齢化」という複雑で不確実性の高い社会課題に対し、アントレプレナーシップの視点から新たな共創の可能性を探ります。公衆衛生・実践教育・テクノロジーの立場から、データの利活用や地域との協働がいかにして現場起点の価値創出につながるのかを議論します。特に「今ある資源から始める」エフェクチュエーションの考え方着目し、失敗や試行錯誤を前提とした実践知の共有を通じて、研究・教育・事業を横断するウェルビーイング社会実現のための新たなアプローチを提示します。

	氏名	所属
座長	島岡 未来子	神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科
発表者	角田 ますみ	杏林大学保健学部
	松永 早苗	神奈川県立保健福祉大学実践教育センター・保健福祉学部
	井上 友綱	Pestalozzi Technology 株式会社

2. 健康と繋がりを生み出す社会のデザイン

- 高齢者や障害のある人だけでなく、子ども、子育て世代、外国人、働き世代など、多様な背景を持つ人々が自然に関わり合い、支え合える「つながりのある社会」は、持続可能で包括的な地域づくりに不可欠です。本シンポジウムでは、こうした「ゆるやかなつながり」を生み出すための社会デザインの実践例として、県のヘルスケアニューフロンティア政策、公共施設の役割変革、企業による共助の場の創出、さらに共生社会としての殿町の取り組みについてご紹介します。参加者一人ひとりが「自分ごと」として関わるような仕組みや空間、プロセスのあり方を議論し、これからの共生社会・地域包括ケアの在り方を展望します。

	氏名	所属
座長	渡邊 亮	神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科
発表者	牧野 義之	神奈川県いのち・未来戦略本部室
	舟田 彰	川崎市立宮前図書館
	宮崎 進一	一般社団法人全国地域生活支援機構
	野村 龍太	公益財団法人実験動物中央研究所

3. オーラルフレイルを身近に

- う蝕（むし歯）や歯周病（歯槽膿漏）に代表される口腔疾患は生涯を通じて発症し、口腔と全身の健康は密接に関連していることが明らかになったことから、近年、口腔健康の重要性が至る所で発信されています。その中で、滑舌が悪くなる、食べ物が飲み込みにくいといった些細な口腔機能の衰えのことである「オーラルフレイル」が注目されています。オーラルフレイルとは、「健康と病気の中間に位置する状態」であり、まさに「未病」に該当します。

- 本シンポジウムでは、オーラルフレイルにおける最新の知見について、研究者である東京科学大学の柳田氏、オーラルフレイルの地域での啓蒙活動について、行政職員である平塚市役所の佐藤氏にそれぞれお話しいただき、皆様と活発に議論ができればと思います。

	氏名	所属
座長	久保田 悠	神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科
発表者	柳田 陵介	東京科学大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野
	佐藤 麻美	平塚市役所・東京大学高齢社会総合研究機構

4. 住環境と健康

- どのような場所や住環境に住むのかが、健康に一定程度影響を及ぼすことがわかっています。そこで本シンポジウムでは、住環境の中でも、都市計画や建造環境というハード面、そしてそこに住んでいる人との繋がりというソフト面の双方に着目します。それぞれが人の健康にどの影響するのかについて、研究内容や取り組み内容を共有し、健康に生活できる地域環境づくりの方向性について議論を深めることを目的とします。

	氏名	所属
座長	津野 香奈美	神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科
発表者	矢吹 剑一	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院
	土屋 瑠見子	公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団 研究部
	熊澤 大輔	神奈川県立保健福祉大学イノベーション政策センター

5. 都市計画と健康

- 女性の健康を支えることは、働きやすさと生産性を同時に高め、企業の成長と人材定着を後押しする先行投資です。本シンポジウムでは、累計約12,000人の疫学データを基に開発したエビデンスに基づくプロダクト「働く女性健康スコア」から得られた知見をもとに、企業・地域で実装できる支援方法を共有し、次のイノベーション創出につなげます。さらに、現場発のニーズを形にしたツール事例を紹介し、このスコアを組織変革へと活用するためのヒントを提供します。

	氏名	所属
座長	吉田 穂波	神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科
	黒河 昭雄	神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科
発表者	井上 友美	三菱地所株式会社・まるのうち保健室
	日高 優海	株式会社ファムメディコ クリニック運営部
	錦谷 まりこ	九州大学データ駆動イノベーション推進本部 健康医療DX推進部門